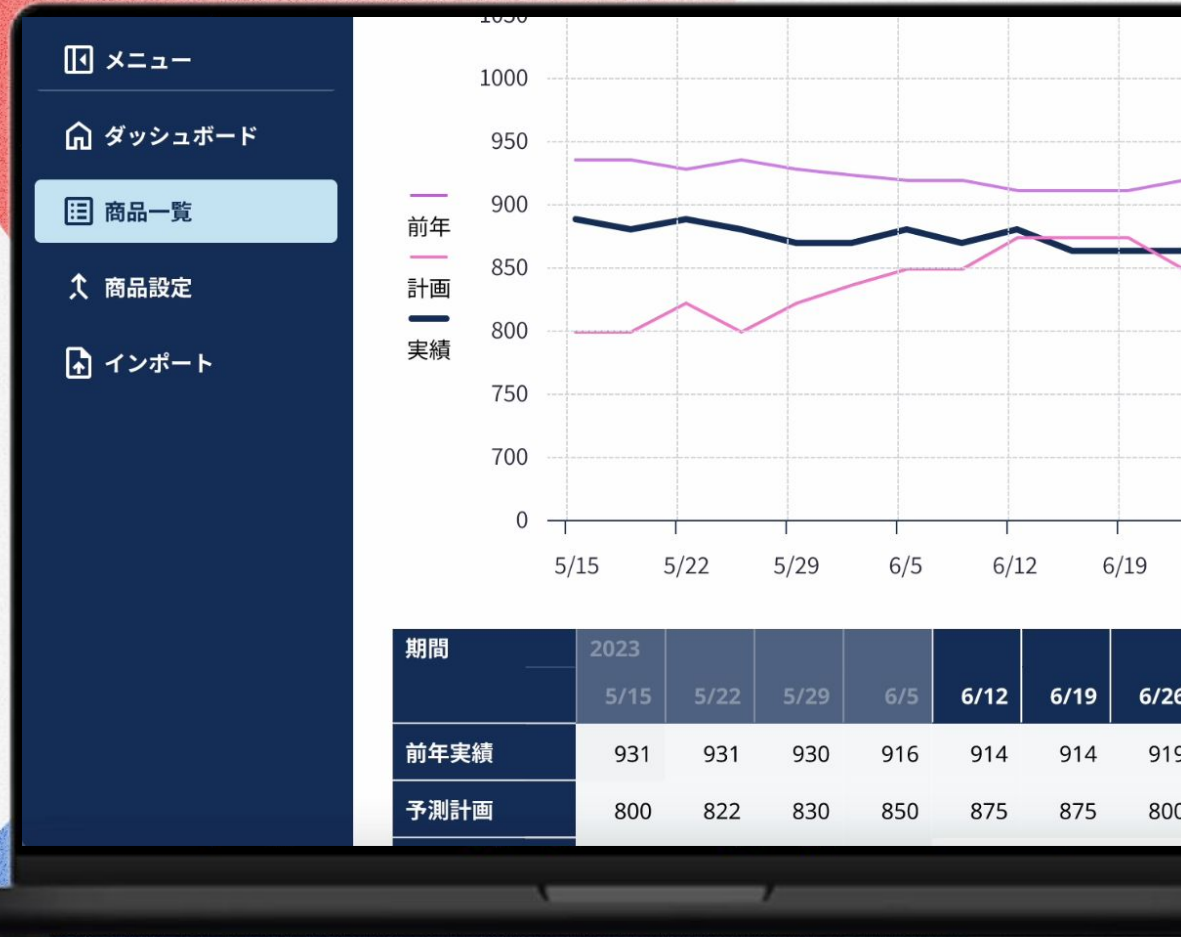


Airlake Forecasting

AIによって高精度な予測と自動化を行い
「予測の民主化」をかんたんに実現

3分でわかる
Airlake Forecasting



日本を代表する社会インフラ企業のDX・AI活用を支援

食品 / 卸売 / 小売 Food / Wholesale / Retail

予測



予測



予測



予測



分析



予測



予測

社名非公開：食品卸

分析



最適化

社名非公開：弁当販売

最適化



予測

分析



株式会社山星屋
YAMABOSHIYA Co., Ltd.

分析

社名非公開：食品製造

分析

社名非公開：飲料製造

公共 / 運輸 Utilities / Transportation

予測

分析



基盤



基盤



GIS

社名非公開：電力

GX/GIS

社名非公開：電力

基盤

社名非公開：鉄道旅客

基盤

社名非公開：電力

建設 / 不動産 Construction / Real Estate

分析



分析

社名非公開：建築設計

分析



基盤



基盤



基盤

社名非公開：不動産管理

基盤

社名非公開：ゼネコン

製造業 Manufacturing

予測



分析



予測

社名非公開：素材製造

基盤



基盤

社名非公開：半導体製造

IT / サービス IT / Service

基盤



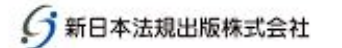
東芝デジタルソリューションズ株式会社

構造化



三井住友海上

基盤



基盤



GX



基盤



NXワンビシアークाइブズ

基盤

社名非公開：医療サービス

需要予測を「誰でも」できるようにするサービス

Airlake Forecastingは、需要予測に必要な作業を
AIが肩代わりするサービス
専門的な知識がなくても、
データを連携するだけで、
実務に使えるレベルの予測結果を得られる



需要予測のよくあるお悩み

需要予測、こんな状態になっていませんか？



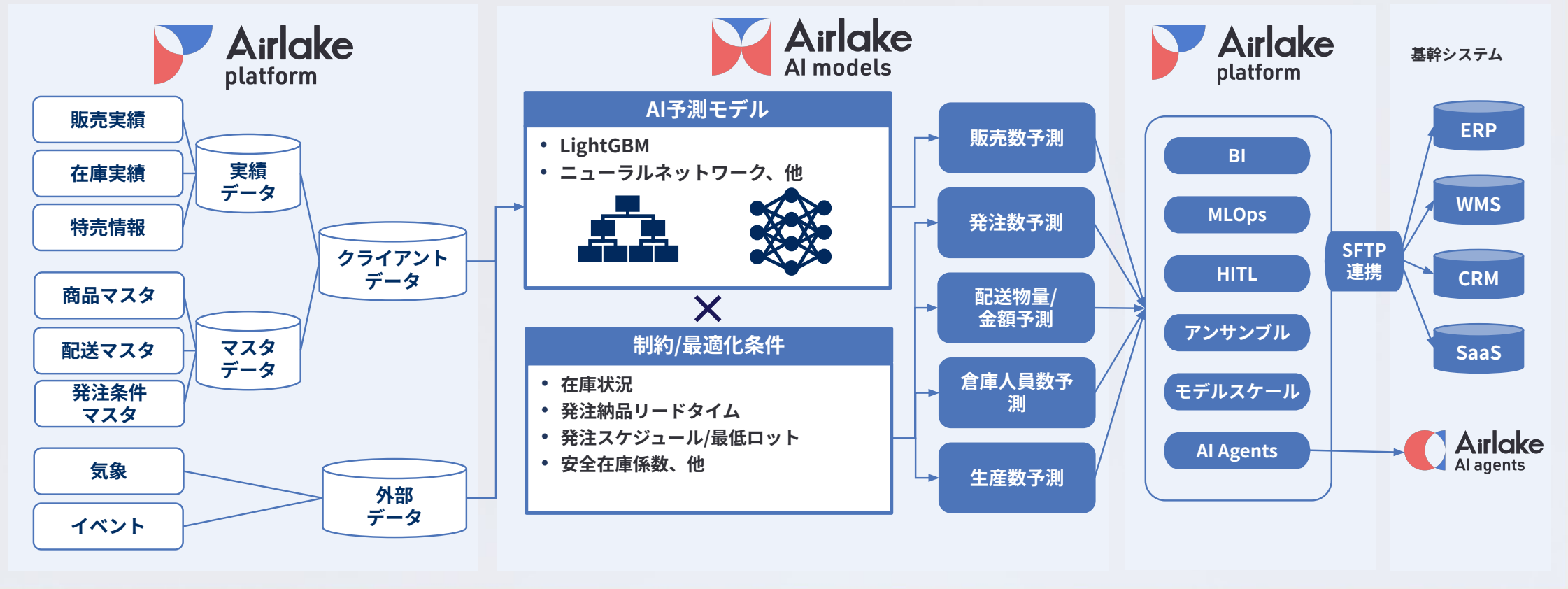
- 毎回Excelで数字を並べ、手作業で予測している
- ベテラン担当者の経験や勘に頼っており、属人化している
- 欠品や作りすぎが起き、在庫ロスや機会損失につながっている
- 予測作業に時間がかかり、本来やるべき業務に集中できない

人の力だけでは限界がある理由

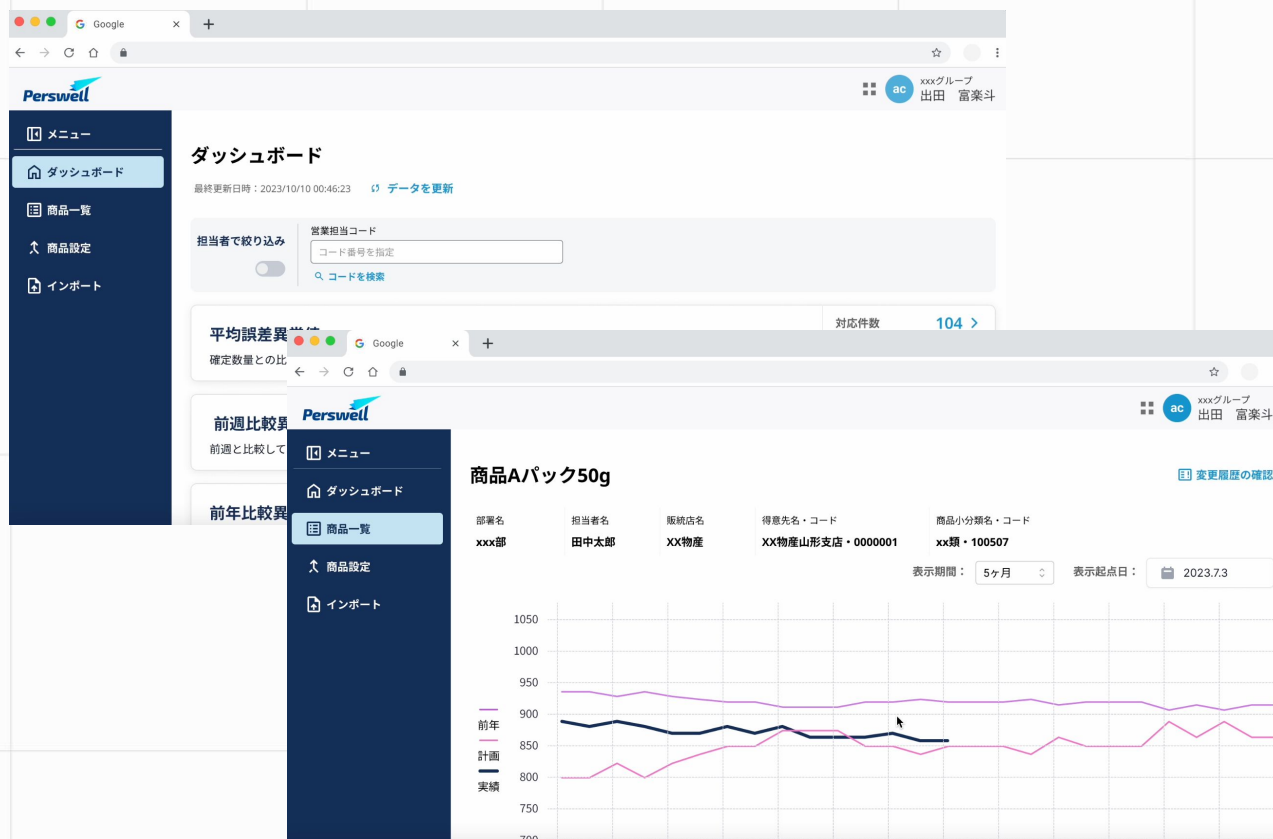
- 需要予測は、単に「過去の売上を見る」だけでは成立しない
- 商品数が多く、季節・天気・イベントなどの影響も受け、条件は毎日変動する
- これらをすべて考慮して予測するのは、人の手では限界がある



予測／在庫最適化／自動化を一気通関でAIが実施



画面はご要望に応じてカスタマイズ可能、直感的なUIで簡単操作



専門知識不要、簡単操作

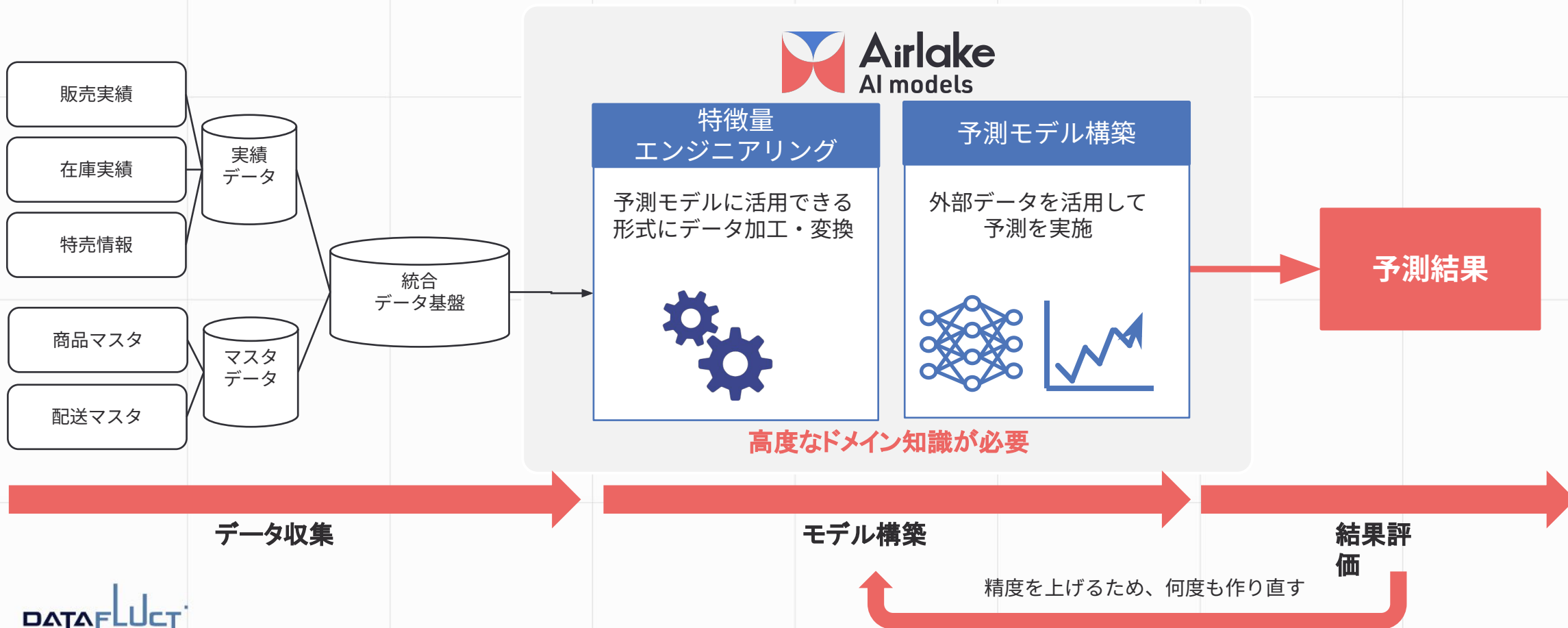
高度なAI技術をより身近に

カスタマイズで高度なDXを実現

※ 画面はイメージです。サービス提供時には業務要件に応じてカスタマイズして開発します。

特徴① AIが自動で考えてくれる

「どの予測方法がいいか」はAIが判断し、予測モデルを構築



売上に影響する外部情報をまとめて活用

天候データ



コロナウイルス
感染者数データ



人流データ



イベントデータ



予測結果だけでなく

「売上に影響する外部要因」

も一緒に取り込んで分析できる

天気（気温・降水量）やイベント、人流、感染者数など、売上に影響しやすい外部データをまとめて活用。

「雨の日に落ちる」「イベント日に伸びる」といった傾向を反映できるため、勘や手作業の補正に頼らず、より納得感のある予測につながる。

売上への影響度合いを分析し、ブラックボックス化を防ぐ

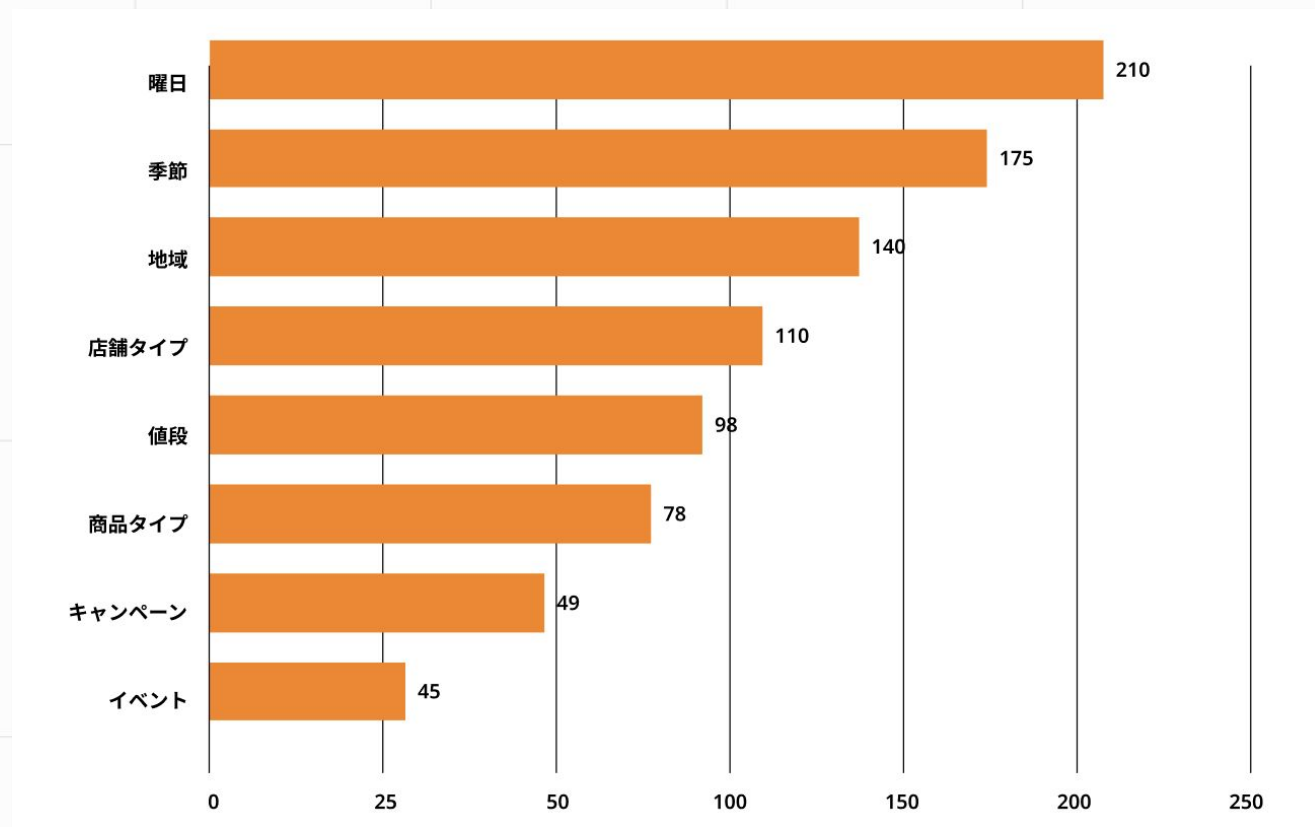
予測結果だけでなく

「どの要素が予測に影響したのか」

も分析・確認できる

商圈人口の影響が大きいのか、競合店数の影響が大きいのかなど、ブラックボックスになりがちな予測の根拠を提示

そのため社内説明や改善検討にも活用可能に



従来の需要予測

手作業で時間がかかる
担当者によって精度がばらつく

- データを手動で取得
- Excelへ転記
- 手動でデータを整形
- 手動で予測精度を確認
- 手動で予測を修正



予測は自動
安定した精度で判断できる

- データは自動連携
- 自動で前処理
- 最適な予測モデルを構築
- 最適な予測を自動実行
- 自動で予測精度算出

天候も加味した最適なモデルで予測精度10%改善

Before

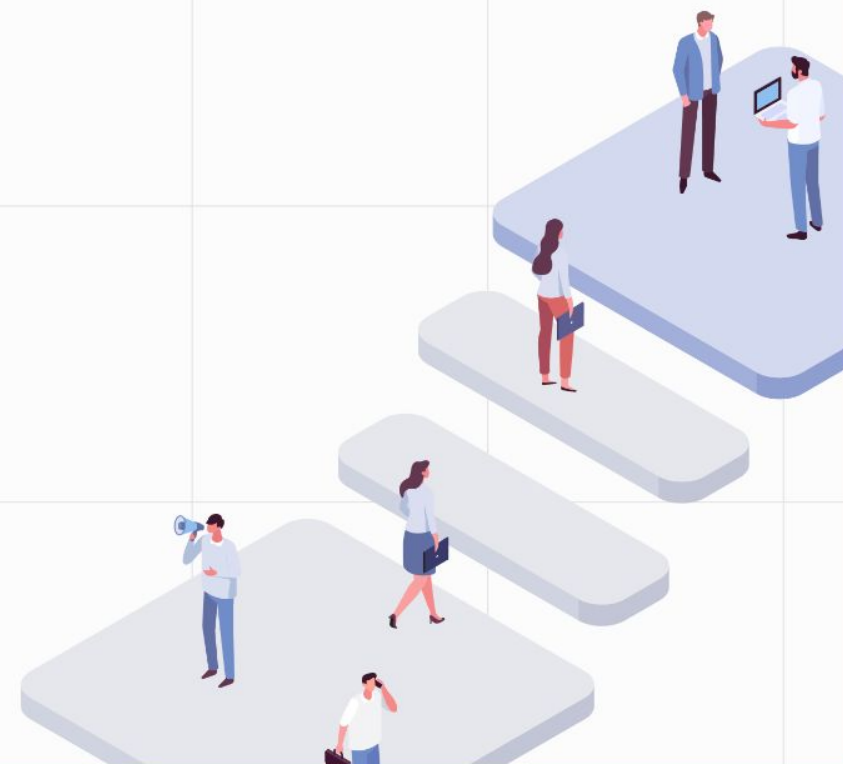
- 過去実績と曜日重み付けで予測
- 予測精度の問題で在庫数過多や欠品によるイレギュラー調達が発生

解決方法

- 商品ごとにモデルを作成
- 変動する需要に合わせて一定頻度で自動再学習
- 基幹システムから受発注データを連携
- 天候データなどと組み合わせて分析

After

- 従来からの予測から予測精度が10%改善
- 全国288倉庫に導入済み
- 需要予測の高度化によって自動発注を支援



営業担当における販売計画作成作業を60%削減

Before

- 全国の営業担当が販売計画の判断を行い、手動で計画量を入力しており、多くの工数が割かれていた
- また属人化されており、予測精度も営業担当者により差があった

解決方法

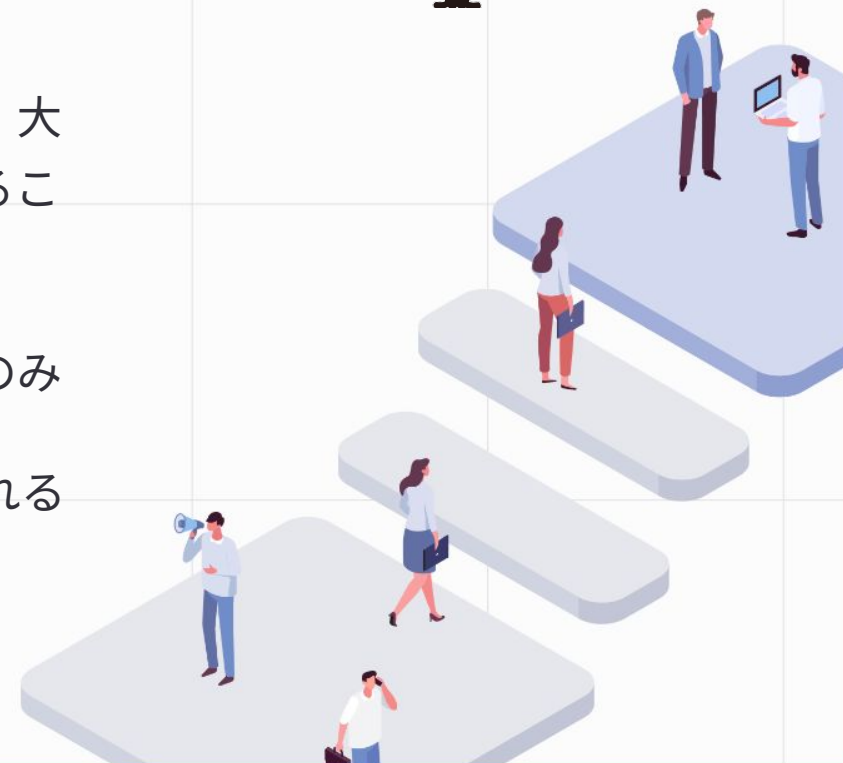
- 商品SKUごとに予測が可能な需要予測モデルを構築。大口顧客など属性によっては営業担当のヨミも反映することでAIを人が補佐するハイブリッド対応を実現

After

- 初期段階では予測精度が安定している商品についてのみAI予測を活用して属人性を排除
- 全国の営業担当の販売計画作成業務の60%が削減される見込み

おいしいものだけトロナから

Tolona Japan





Airlake
Forecasting

導入事例③

全日本食品株式会社

配送最適化により、3年間で約7.4億円コストの削減

Before

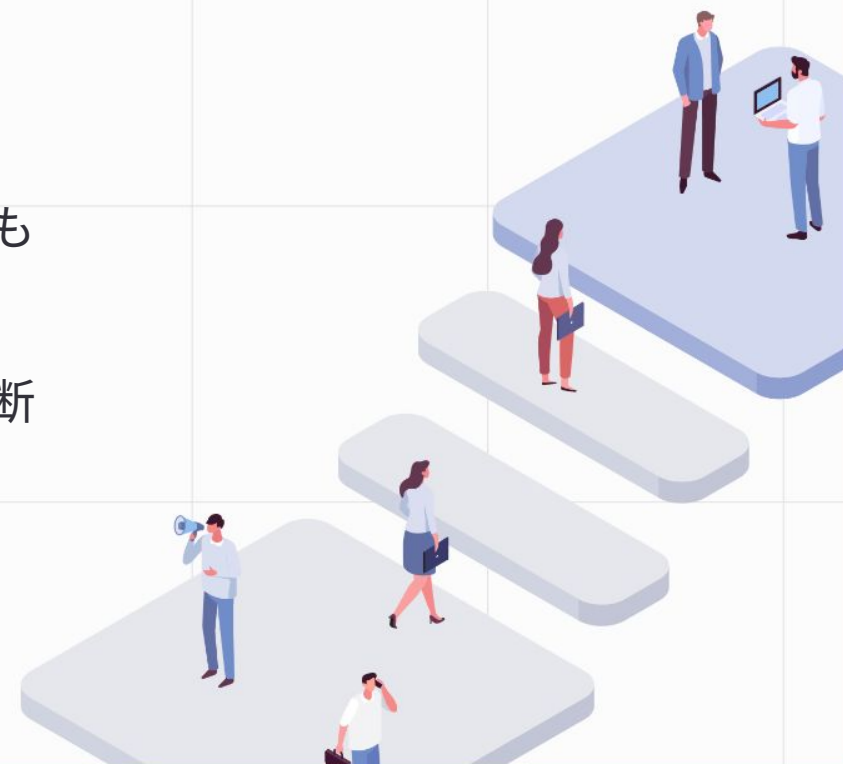
- 手動で積載量・必要な人員を計算していた
- 流動的な需要への対応が難しかった
- 配送ルートや人員にロスが発生していた

解決方法

- 拠点/配送ルート別の納品量予測モデルを構築
- 予測に基づき拠点毎のシフトや配車台数を最適化
- データのない新規店舗や特売商品の需要・業務にも対応できる、汎用性の高いソリューションを開発

After

- 予測の属人化を解消し、どの担当者でも最適な判断ができる体制を構築。
- 3年間で約7.4億円のコスト削減を見込む

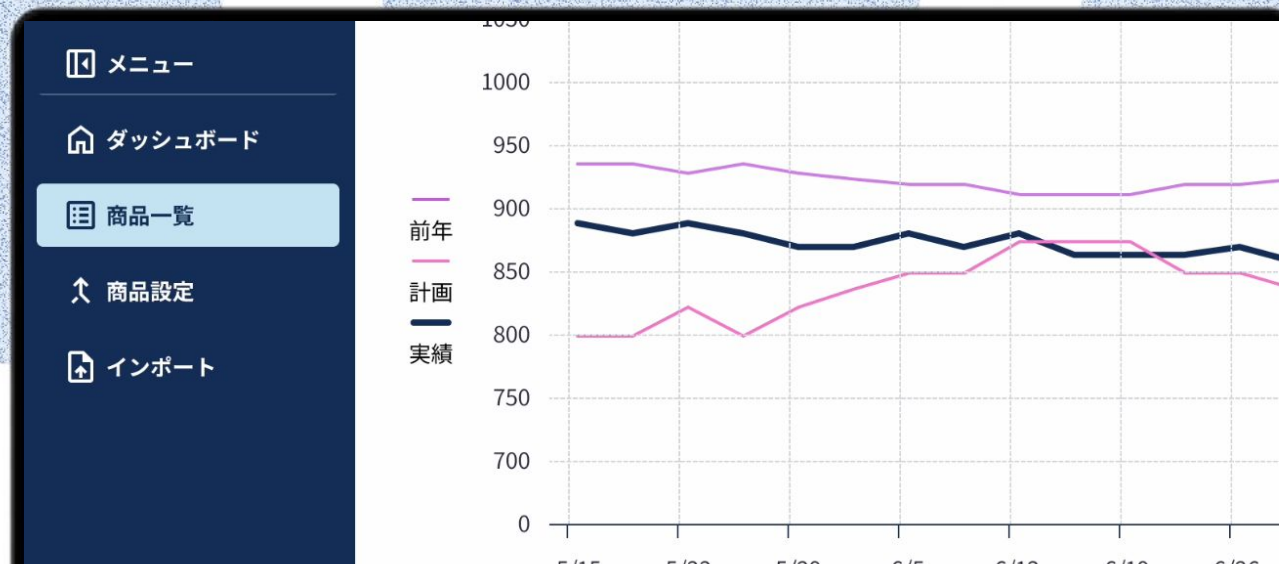


AIで、手作業・属人化・専門知識への不安から解放 こんな方におすすめ

需要予測をExcelや
手作業で行っている

特定の人に依存した
予測から脱却したい

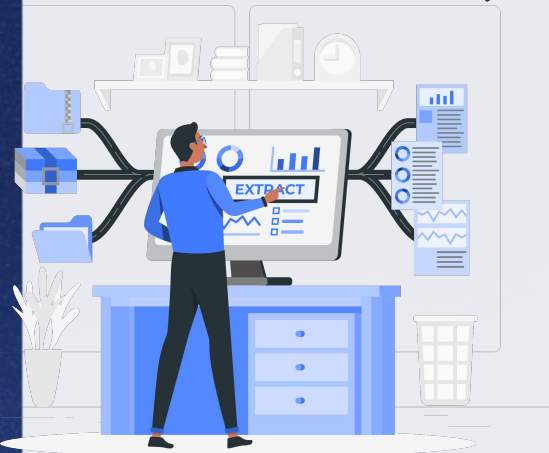
AIを使いたい
が専門知識に不安がある





Airlake Forecastingで「需要予測に革命を」

1. 需要予測を、誰でも実務で使える形に
2. 現場の負担を減らし、判断の質を高める
3. データに基づいた安定した意思決定を支援



詳しく話を聞きたい、デモが見たい、
料金が知りたい方は、ぜひ右のQRコードより
お問い合わせください。



DATAFLUCT

データので、組織を動かす